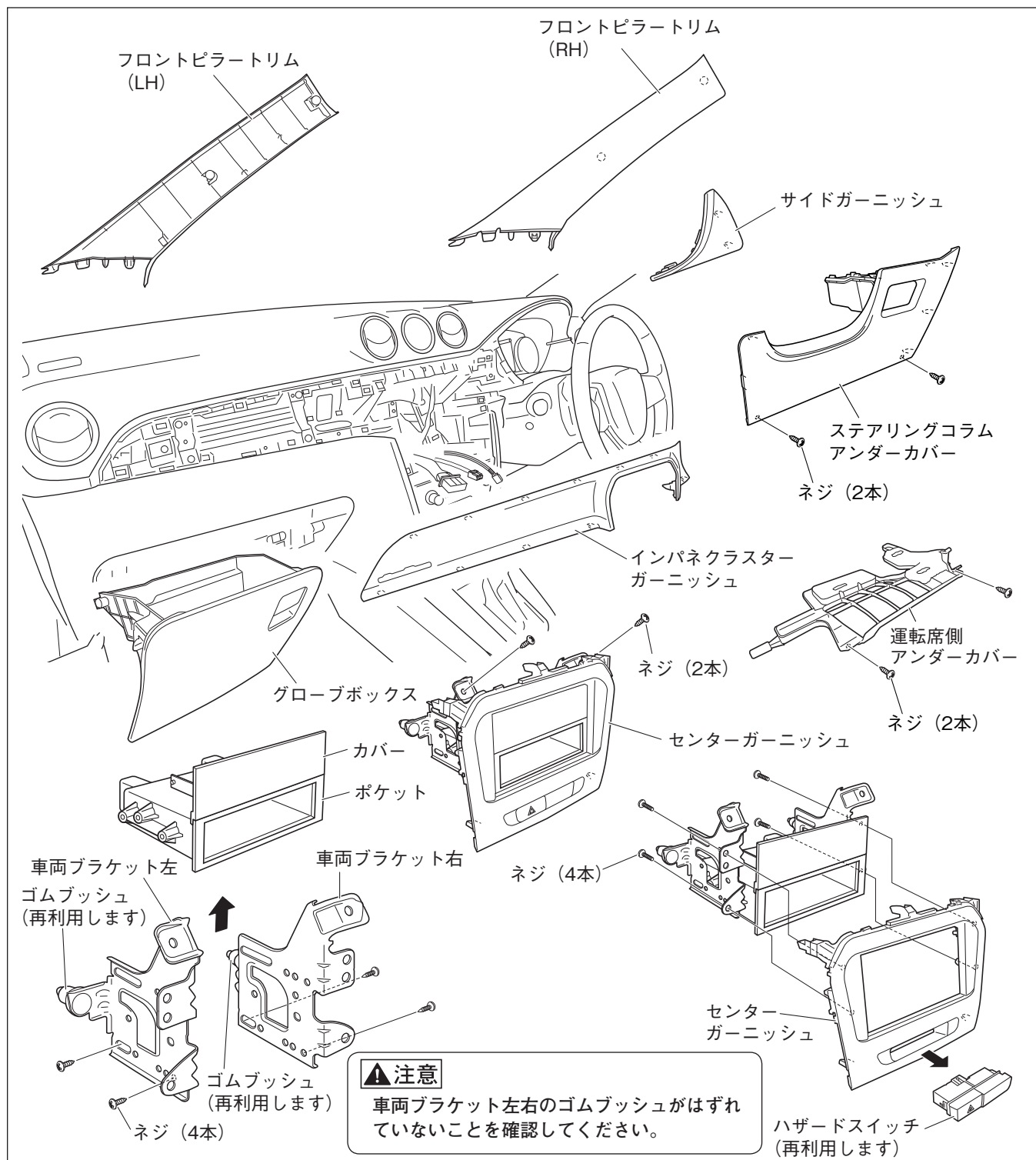


## ■ エスクード

● 共通編も合わせて参照ください。

### ■ 車両部品の取り外し



1. フロントピラートリム (LH/RH) を取り外します。
2. グローブボックスを取り外します。
3. インパネクラスターガーニッシュを取り外します。(クリップ2箇所、ツメ10箇所)
4. サイドガーニッシュを取り外します。(ツメ2箇所)
5. センターガーニッシュを取り外します。  
(ネジ2本、ツメ5箇所、ハザードスイッチ、オーディオコネクター、アンテナコネクター)
6. センターガーニッシュから車両ブラケット左右 (ネジ4本) とハザードスイッチを取り外します。
7. 車両ブラケット左右からカバーとポケットを取り外します。(ネジ4本)
8. ステアリングコラムアンダーカバーを取り外します。(ネジ2本、ツメ7箇所)
9. 運転席側アンダーカバーを取り外します。(ネジ2本)

## ■ 保護シートの準備

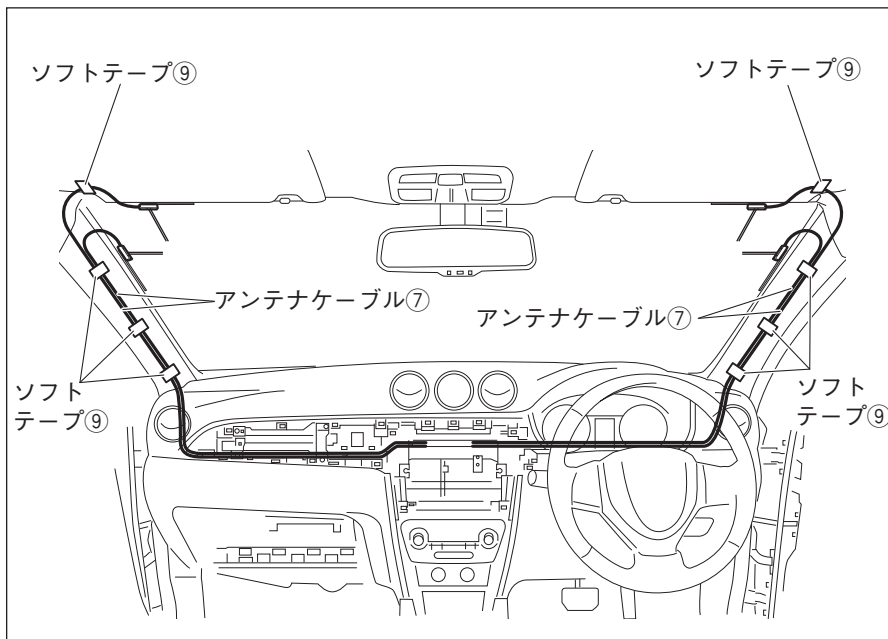
保護シート (200×50mm) ⑰

単位:mm

|       |       |  |
|-------|-------|--|
| 80×50 | 50×50 |  |
|-------|-------|--|

1. 車両側の板金エッジ部の保護と、アンテナケーブル⑦の固定のため、保護シート⑰を図のようにカットしてください。

## ■ TV アンテナの配線と固定

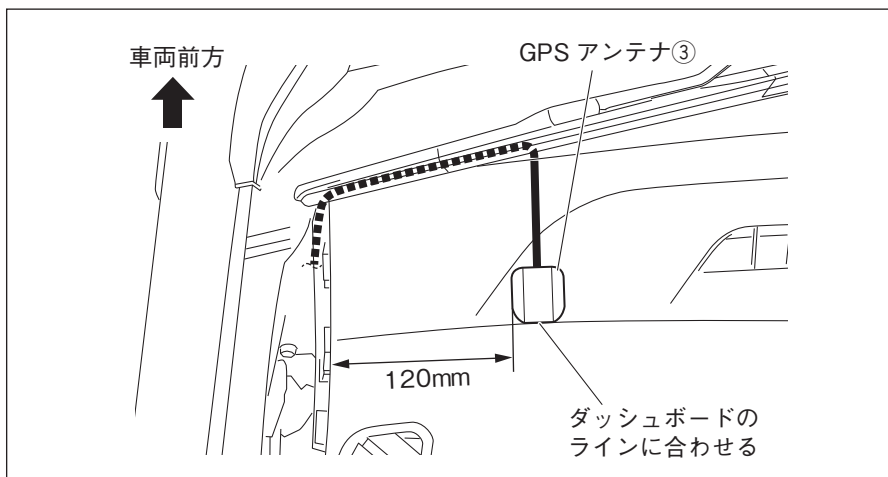


1. ソフトテープ⑨で固定しながらアンテナケーブル⑦を配線します。

### 注記

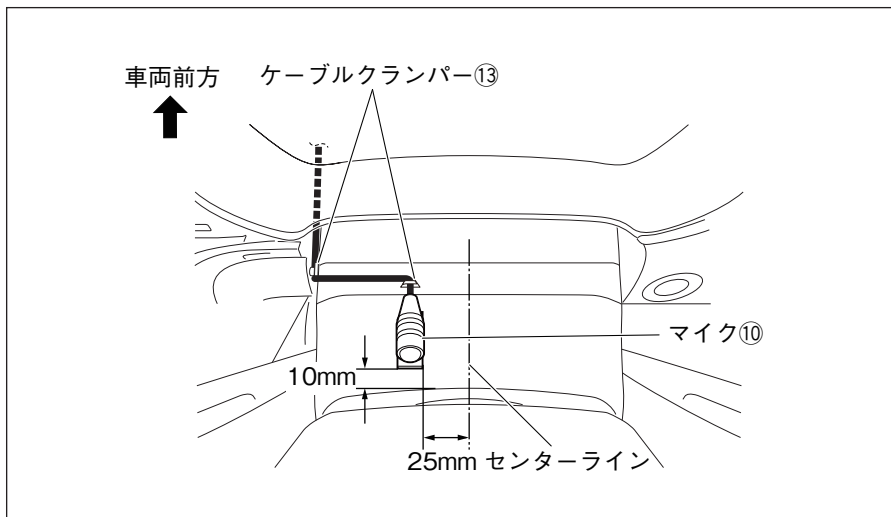
- ・アンテナケーブル⑦およびソフトテープ⑨は、カーテンエアバッグの部品と接触しないように配策・固定してください。
- ・ソフトテープ⑨でフロントピラートリムの固定クリップ穴をふさがないでください。また、フロントピラートリムの当てリブ部と干渉しないようにしてください。

## ■ GPS アンテナの取り付け



1. GPSアンテナ③を左図の位置に取り付けます。

## ■ マイクの取り付け



1. マイク⑩を左図の位置に取り付けます。
2. マイク⑩のケーブルをケーブルクランプ⑬で固定します。

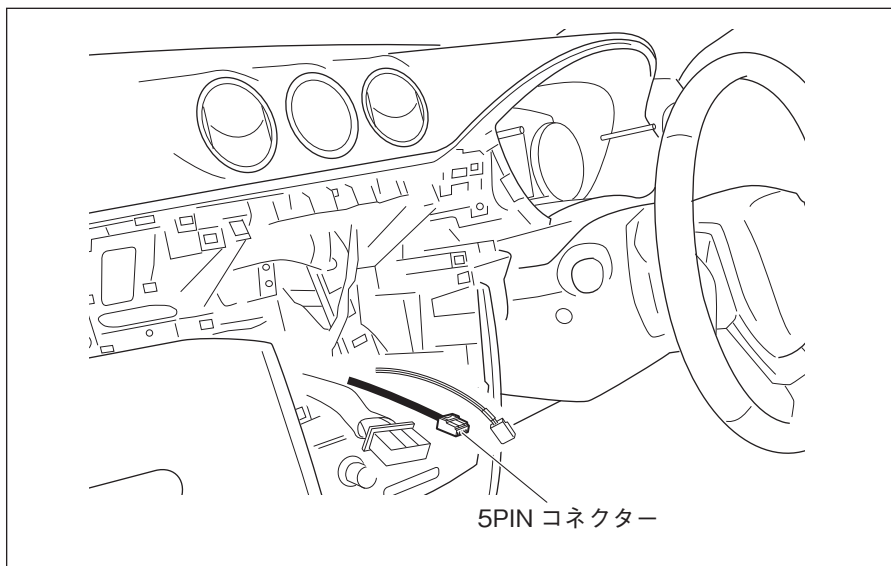
### ▲ 注意

マイク⑩を貼り付ける面の油汚れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。

### 注 記

配線終了後、ステアリングのチルト操作等を行い、マイク⑩のケーブルと干渉しないことを確認してください。

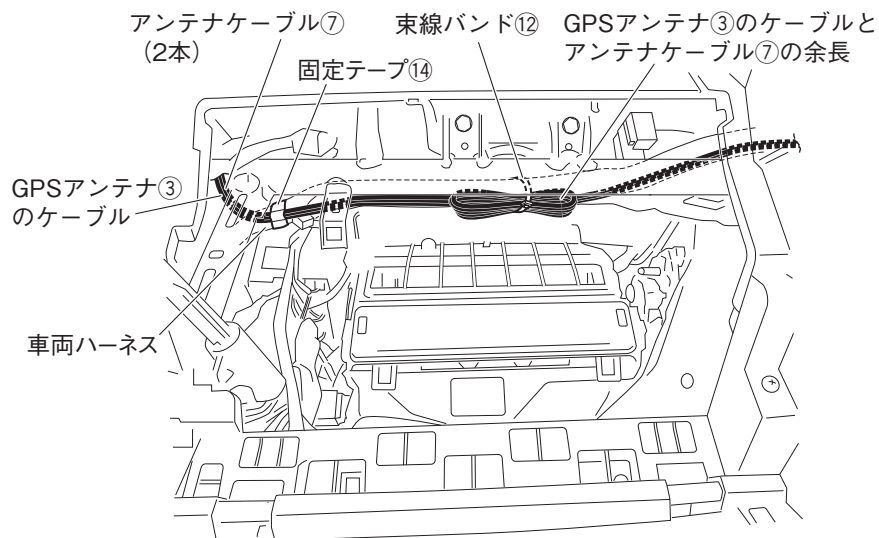
## ■ 車速信号、パーキング信号、バック信号の取り出し



1. 車両側5PINコネクターの線が車両ハーネスにテープで固定されているので、このテープを外します。
2. 車両側5PINコネクターを引き出します。

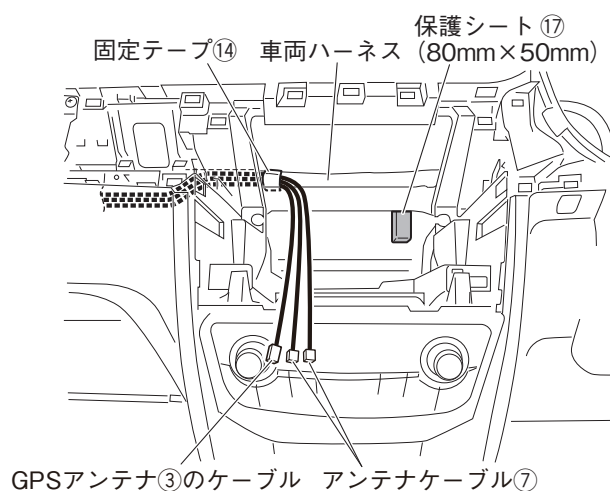
## ■ 配線

### <助手席側：グローブボックス取り付け部奥の配線>



1. GPSアンテナ③のケーブル、アンテナケーブル⑦2本をダッシュボード助手席側からグローブボックス取り付け部奥を通して、ナビゲーション取り付け部まで配線します。ケーブルは固定テープ⑭で車両ハーネスに固定し、余長は束線バンド⑫で車両ハーネスに固定します。

### <ナビゲーション取り付け部の配線>



2. 助手席側から配線したアンテナケーブル⑦2本とGPSアンテナ③のケーブルを、固定テープ⑭で車両ハーネスに固定します。

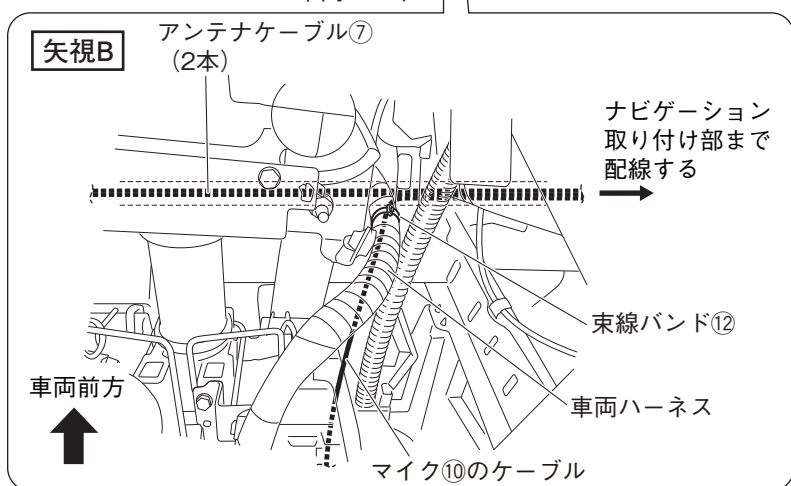
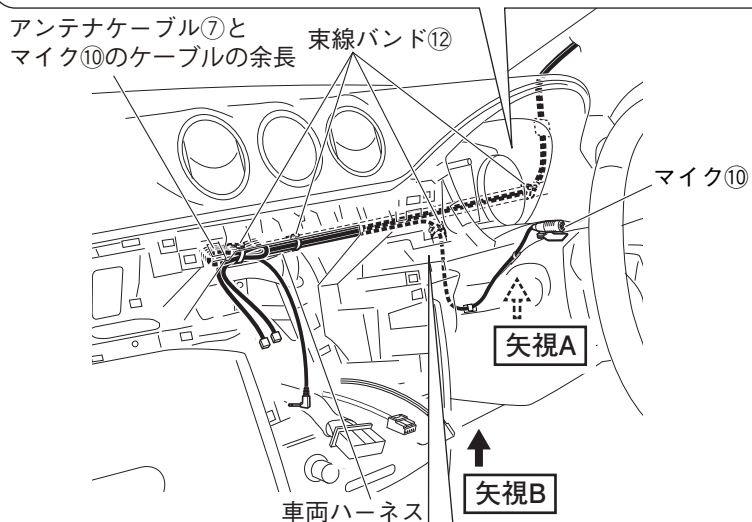
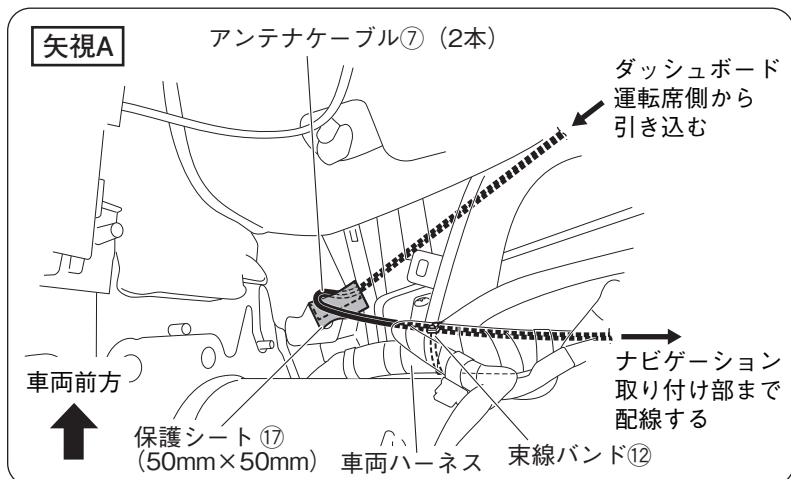
#### ▲ 注意

板金エッジ部に保護シート⑰を左図のように貼り付けてください。

#### 注 記

保護シート⑰を貼り付ける面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。

## <運転席側：メーター裏の配線>

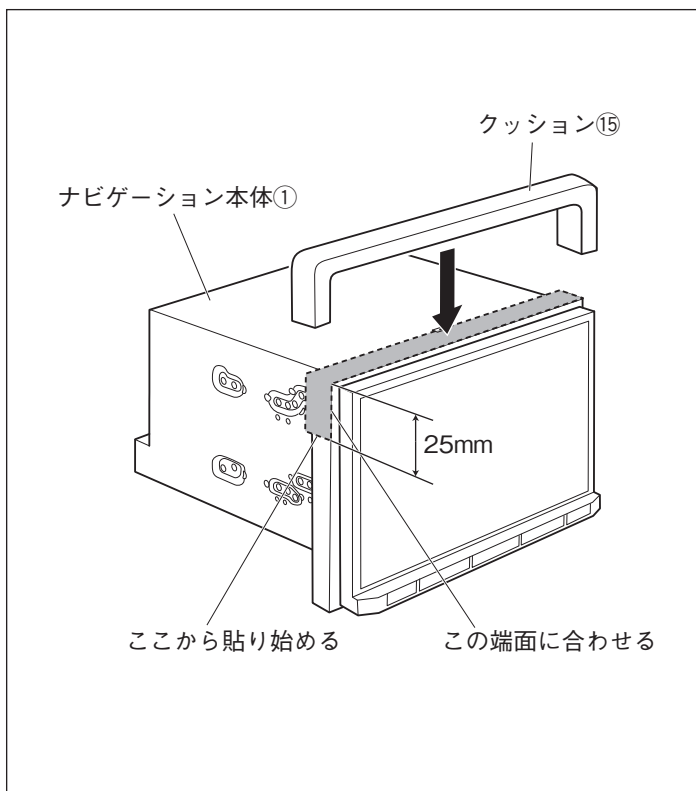


3. アンテナケーブル⑦2本をダッシュボード運転席側からメーター裏を通して、ナビゲーション取り付け部まで配線します。  
アンテナケーブル⑦2本は保護シート①⑦と束線バンド①②で車両ハーネスに固定します。  
マイク①⑩のケーブルを束線バンド①②で車両ハーネスに固定しながら、アンテナケーブル⑦と一緒にナビゲーション取り付け部まで配線します。  
余長は束線バンド①②で車両ハーネスに固定します。

### ⚠ 注意

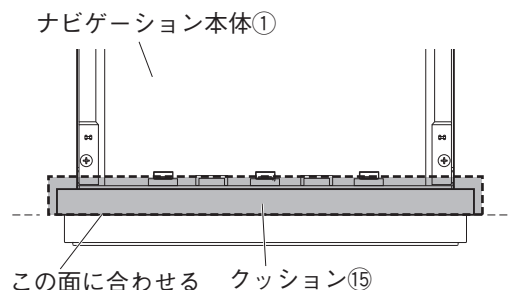
ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。

## ■ ナビゲーションの取り付け

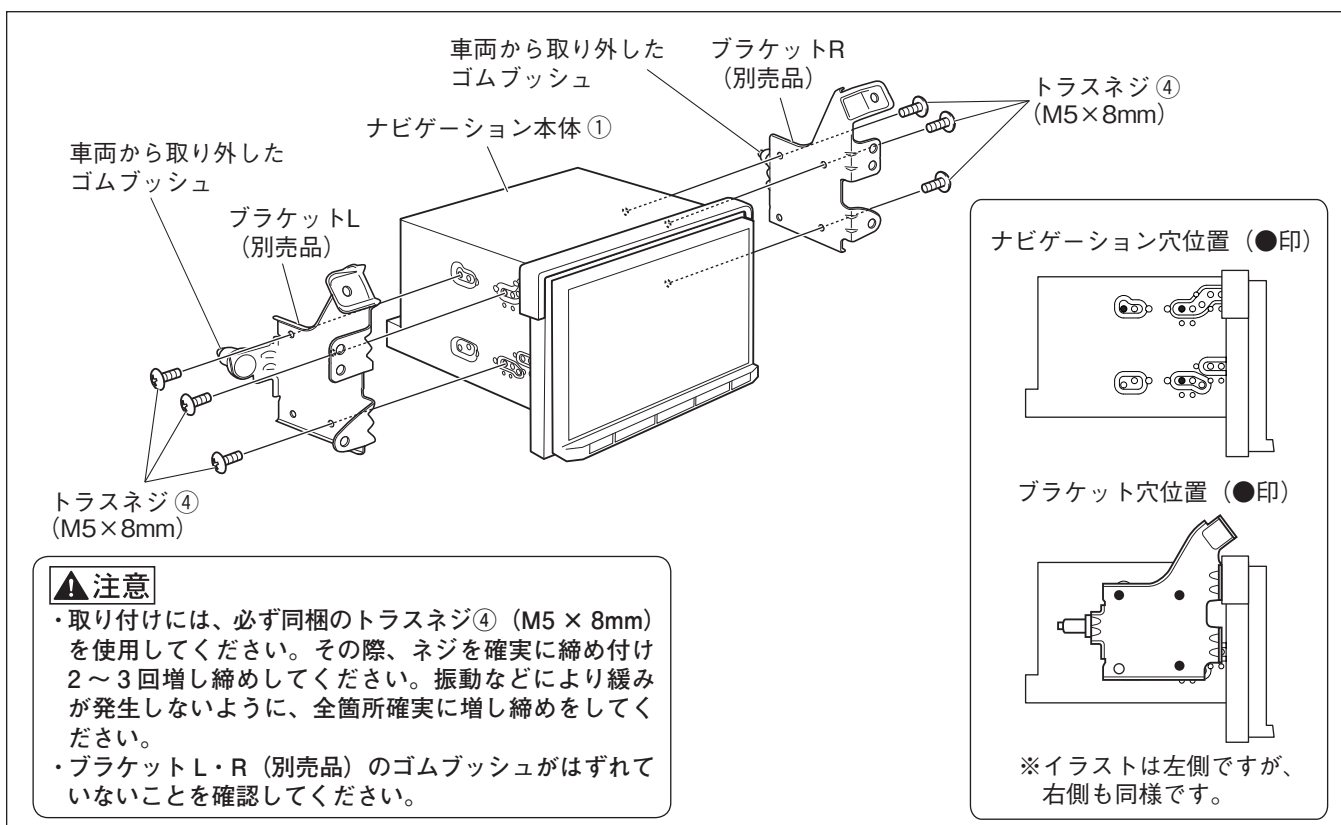
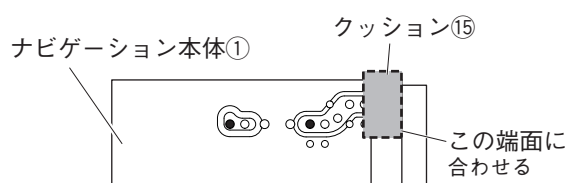


1. 共通編 P21 を参照してナビゲーション本体① にシート⑮を貼り付けます。
2. ナビゲーション本体①の図の位置にクッション⑮を貼り付けます。

### <天面から見た図>



### <ナビゲーション本体を横から見た図>



### ▲ 注意

- ・取り付けには、必ず同梱のトラスネジ④ (M5 × 8mm) を使用してください。その際、ネジを確実に締め付け 2 ～ 3 回増し締めしてください。振動などにより緩みが発生しないように、全箇所確実に増し締めをしてください。
- ・ブラケット L・R (別売品) のゴムブッシュがはずれていないことを確認してください。

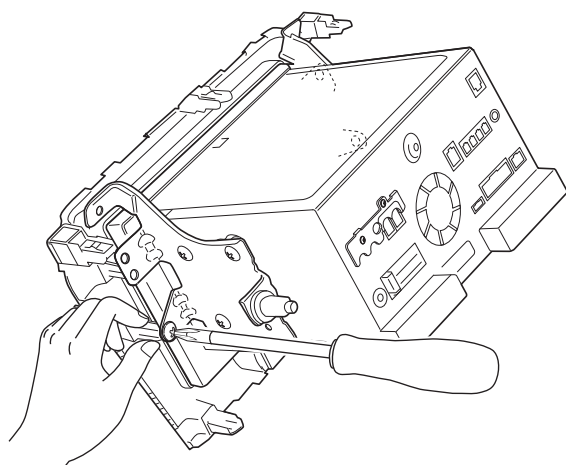
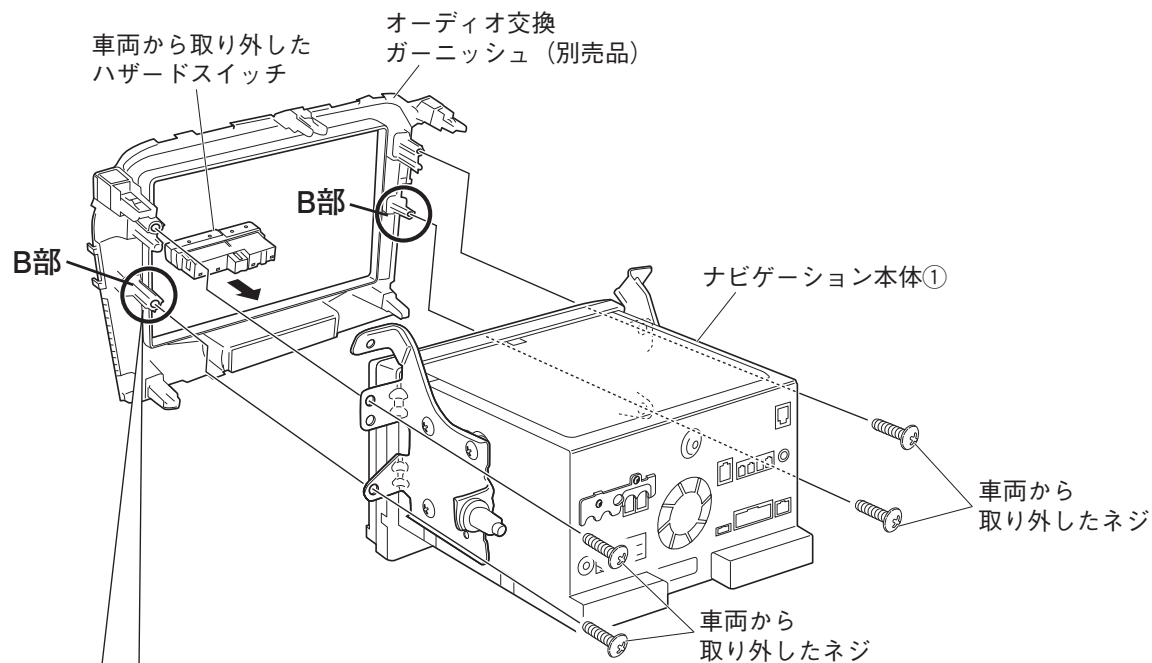
3. 車両ブラケット左右のゴムブッシュを取り外し、ブラケット L・R (別売品) に取り付けます。
4. ナビゲーション本体①にブラケット L・R (別売品) を取り付けます。

### 👉 アドバイス

ナビゲーション本体①のネジ穴とブラケット L・R (別売品) の穴が中心で合うように取り付けてください。

5. 共通編 P6 の結線図を参照してナビゲーション本体①に USB ケーブル⑳を接続し、背面カバー㉑をバインドネジ (黒) ㉒で固定します。

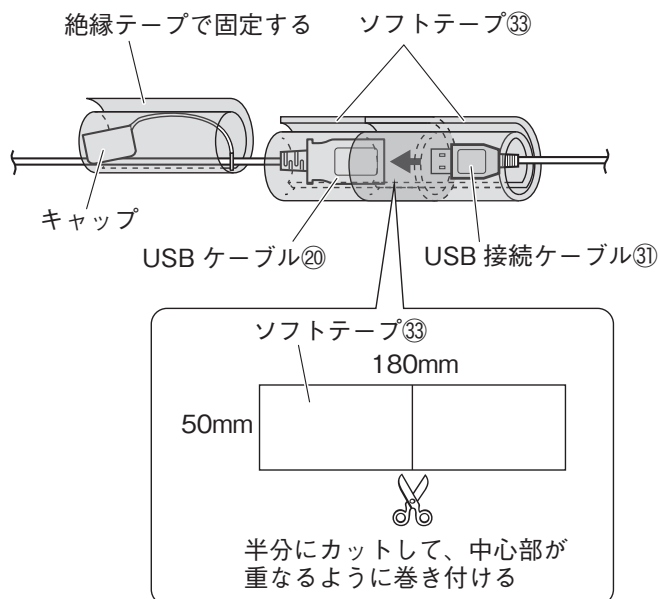
## ■ オーディオ交換ガーニッシュ（別売品）の取り付け



### ⚠ 注意

B 部（2箇所）のスクリューを取り付ける または取り外す際は、オーディオ交換ガーニッシュ（別売品）のネジ受け部を指で押さえながら行ってください。

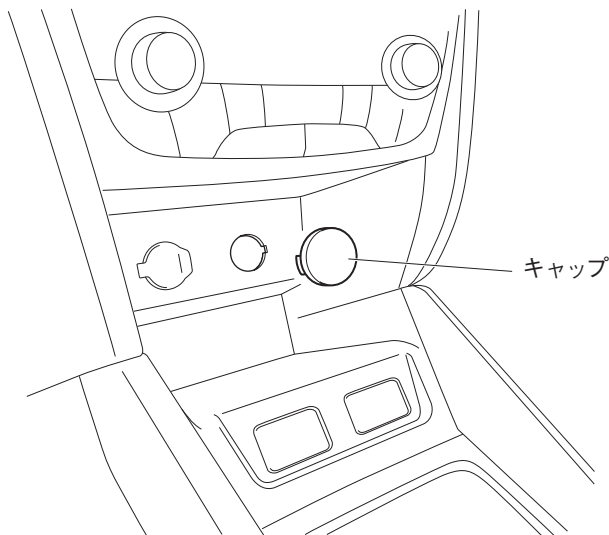
1. 取り外したハザードスイッチをオーディオ交換ガーニッシュ（別売品）に取り付けます。
2. オーディオ交換ガーニッシュ（別売品）にナビゲーション本体①を取り付けます。



- USB ソケット（別売品）を使用する場合は、手順 3 へ進んでください。
- USB ソケット（別売品）を使用しない場合は、手順 10 へ進んでください。

3. ナビゲーション本体①に接続した USB ケーブルと USB 接続ケーブル③を接続します。  
接続部は、異音と抜け防止のためソフトテープ③③を巻きます。  
取り外した USB のキャップは、絶縁テープで USB ケーブル②②に巻いて固定してください。

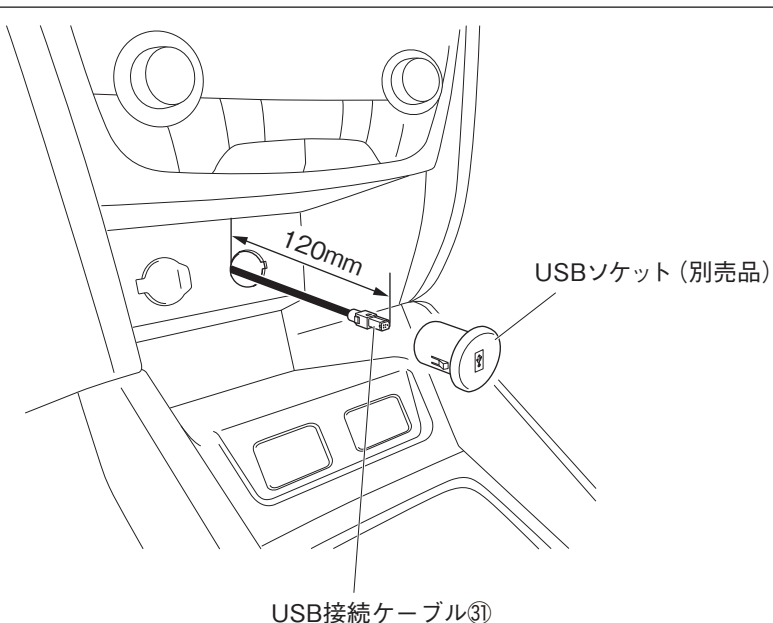
4. アクセサリーソケットのキャップを取り外します。

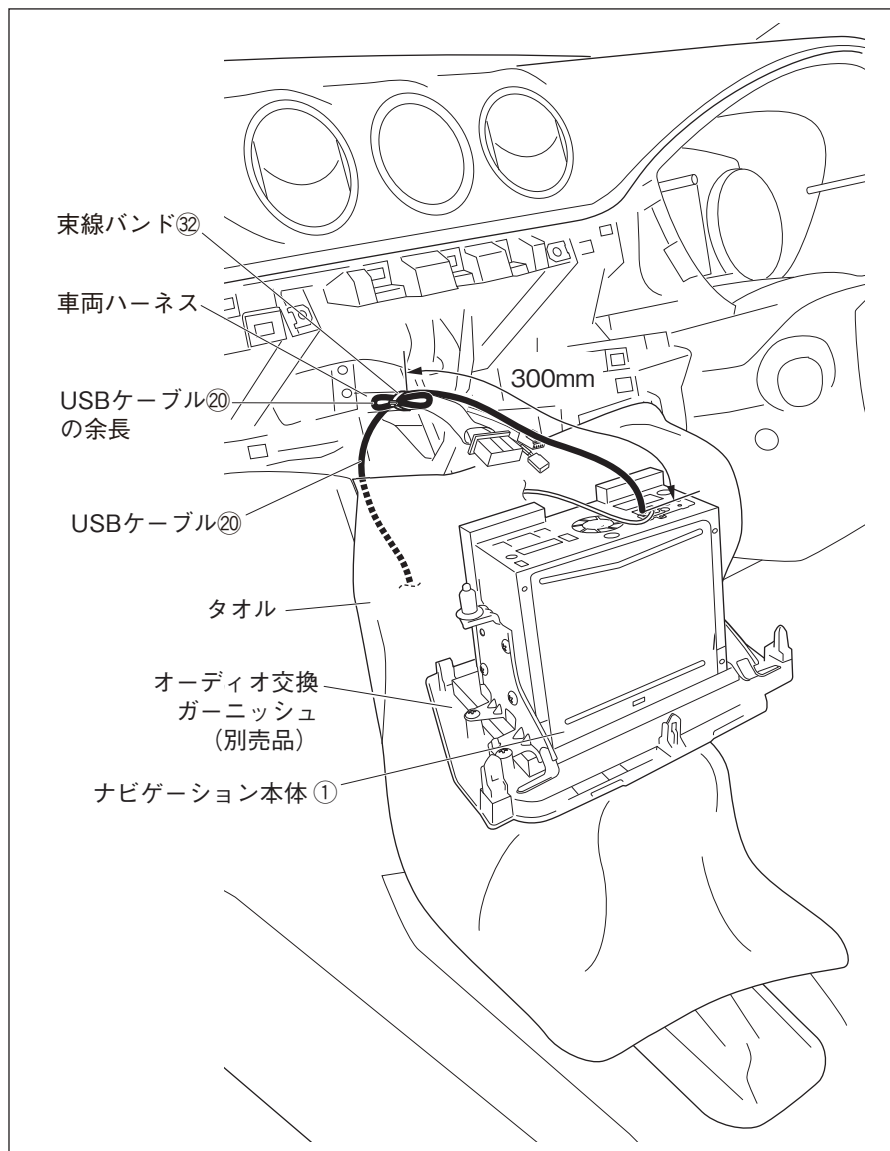


5. ナビゲーション本体①背面の USB ケーブル②②2本のうち、USB 接続ケーブル③③を接続した1本をエアコンパネル下まで配線し、USB ソケット（別売品）を取り付ける穴から 120mm 出します。
6. USB 接続ケーブル③③と USB ソケット（別売品）を接続します。

**▲ 注意**

コネクターはカチッと音がするまで確実ににはめ込んでください。





7. エアコンパネルからシフトノブまでを覆うように、タオルなどで保護し、ナビゲーション本体①を置きます。

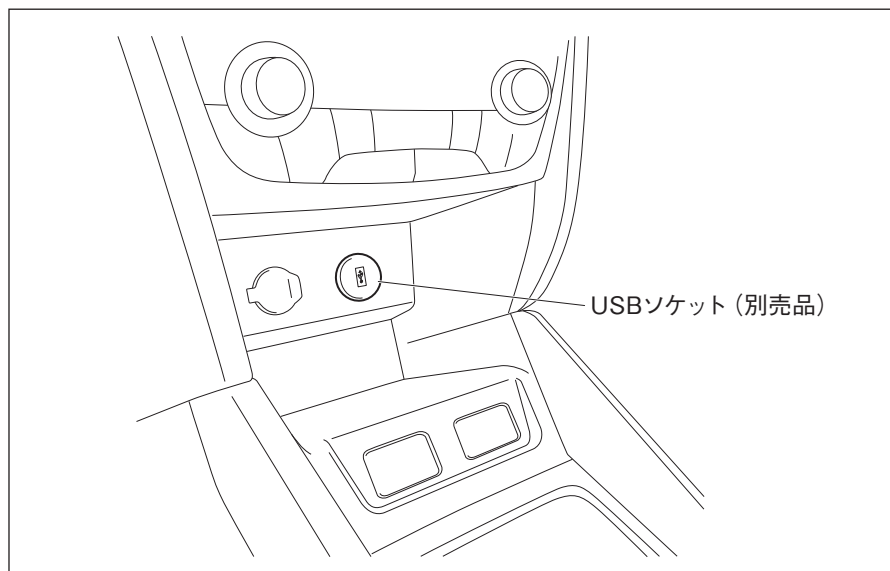
**▲ 注意**

ナビゲーション本体①のパネルとオーディオ交換ガーニッシュ (別売品) にキズをつけないようにしてください。

8. 図のように配線し、余長は束線バンド③②で車両ハーネスに固定します。

**▲ 注意**

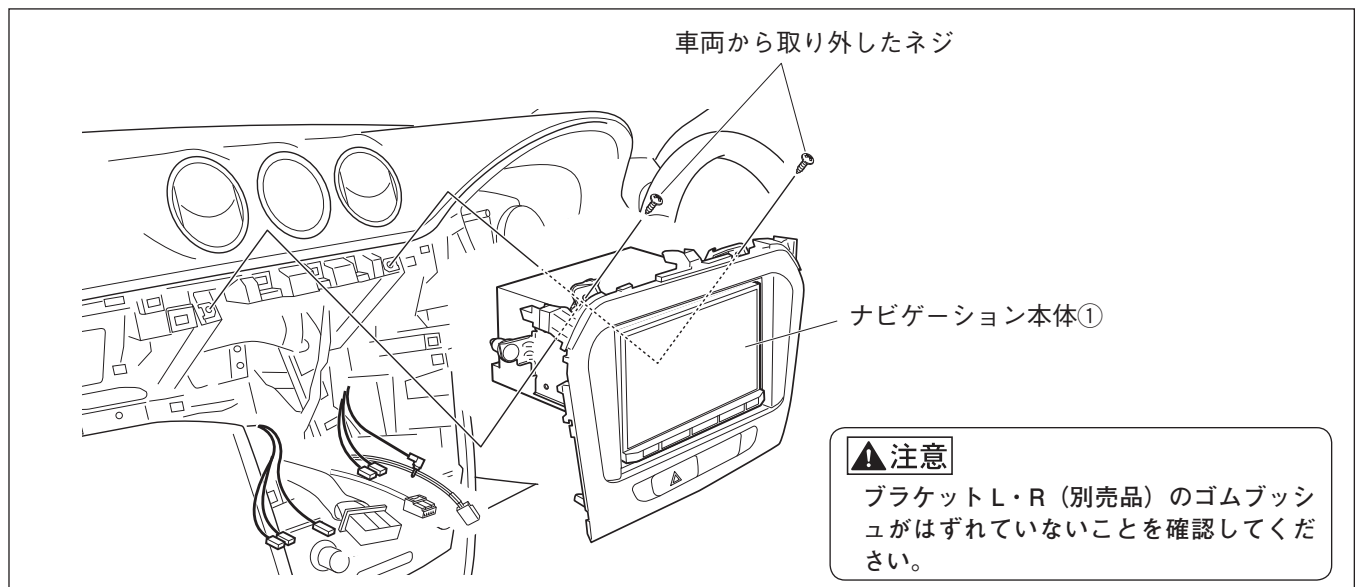
USB ケーブル⑳ は、板金エッジ、樹脂エッジ、および可動部に干渉しないように配線してください。



9. USBソケット (別売品) を車両に取り付けます。

**▲ 注意**

USB ソケット (別売品) のツメが確実に掛かるように取り付けてください。



10. 結線図を参照して配線を接続します。

11. ナビゲーション本体①を車両へ取り付けます。

その際、ナビゲーション本体①に接続したUSBケーブル⑳をグローブボックス側へ配線します。(共通編P22を参照してUSBケーブル⑳の取付を行ってください。)

12. ナビゲーション本体①を車両から取り外したネジで車両に取り付けます。取り付ける際は、ゆるみのないよう締め付けてください。また、ネジおよび指示なきボルトは、がたや破損が発生しないトルクで締め付けてください。

### 👉 アドバイス

- ・ハーネスやケーブルをコンソール内の空いている方に逃がすようにして取り付けてください。ナビゲーション本体①の裏側に固まっていると取り付けできない場合があります。
- ・ゴムブッシュ付近にケーブルやコードが掛からないようにして取り付けてください。ケーブルやコードを挟み込んだり、取り付けできない場合があります。

● コード類を配線する際は、下記の点に注意してください。

**⚠ 警告** 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く  
コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

## ■ 車両部品の復元

1. 取り外しと逆の手順で取り付けます。

- ・車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)
- ・取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。  
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。

● ネジの締め付けトルクが規定されているものがある場合は、規定のトルクで締め付けてください。